

## 新・ほっかいどう社会資本整備の重点化方針改訂（原案）について寄せられた意見の概要

## 1 道民意見募集（パブリックコメント）

## (1) 意見等の募集期間

令和4年12月27日（火）～令和5年1月26日（木）

## (2) 意見募集の結果

区	分	提出者（団体）数	意見の数（延べ数）
意見等の数	個人	6 人	20 件
	団体	3 団体	5 件
	合計	9	25 件

（参考：パブリックコメントホームページのアクセス数 9, 527回）

## (3) 主な意見

- 本道と国内外を結ぶ光海底ケーブル網の充実、データセンター拠点等のデジタルインフラの整備がDX・デジタル化の推進にとって極めて重要。原案 11 ページに光海底ケーブルやデータセンター等の記載も盛り込むべき。（団体）
- 太陽光発電パネルは強風で飛散し、周辺を歩く歩行者を殺傷し、周辺の建物・住宅や車に被害を及ぼすので、太陽光発電の部分は削除するべきである。（個人）
- 2021年7月「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録され、国内外から注目が高まっている。縄文遺跡群の世界遺産登録効果を最大限にいかし、北海道全体の地域振興や経済の活性化につなげ、地域の賑わいを創出するためには、縄文遺跡群への道路整備やアクセスの改善、外国語表記を含めた案内標識の設置などのインフラ整備は喫緊の課題と考える。関係する箇所へ記述を盛り込むべき。（団体）
- 高規格道路の整備は、車で移動することの多い道民にとって優先順位が高いと思う。特に日高道の早期整備をお願いする。（個人）
- 道財政が逼迫する中で、独自の優先度などを踏まえて実施しているという公平性・透明性をアピールする記載があってもよい。（個人）
- 北海道内移動の航空運賃は非常に高価であり、一般の道民にとっては、飛行機移動は高嶺の花であることから、高速道路の充実に期待する。（個人）

## 2 関係団体意見アンケート調査

## (1) 調査概要

経済、観光、医療・福祉、教育、交通運輸など様々な分野の全道的な97団体にアンケート調査を行った。

調査期間：令和5年1月6日（金）～令和5年1月25日（水）

## (2) 団体意見の結果

提出団体数 14団体 意見の延べ数 14件

### (3) 主な意見

- 原案 14 ページに、より物流の危機感が伝わるよう発生し得る事象を具体的に記載するため、2024 年問題とトラック運転手不足・高齢化などを加えた文章に変更していただきたい。
- 物流業界への働き方改革関連法施行により、道内主要航路である苫小牧から遠方な地区（特に、北見、オホーツク、釧路・根室等）との道路網の整備が重要である。
- 地球温暖化対策について踏み込んで欲しい。将来予想等の研究に助成とか。

## 3 市町村等地域意向調査

### (1) 調査概要

各（総合）振興局地域政策課を通じて振興局関係課及び管内市町村に意見を照会  
調査期間：令和 5 年 1 月 6 日（金）～1 月 25 日（水）

### (2) 地域意向調査の結果

提出団体数 4 団体（市町村 2 振興局 2） 意見の延べ数 5 件

### (3) 主な意見

- 施策番号（704）：国際的な海上輸送拠点の整備
  - ・釧路港は、道内で唯一国際バルク戦略港湾に指定されており、北海道における物流拠点として重要な役割を果たしている（全国で 10 港が選定）。
  - ・2018 年に－14m 岸壁の整備が完了し、パナマックス船の入港が可能となったが、受入継続のためには、外郭施設（防波堤）整備事業や航路・泊地の浚渫事業の継続的な実施が必要となる。
  - ・また、2020 年目標とされていたポストパナマックス船に対応した－16m 岸壁が未整備となっている状況であり、港湾の早期整備を要望するもの。
  - ・以上の理由から、地域優先度の引き上げ（B 1）をお願いしたい。

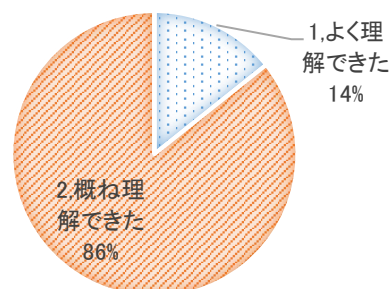
### <参考>

#### 理解度についての設問と回答

（パブリックコメント及び関係団体意見アンケート調査における設問）

問 1：この方針（原案）の内容について理解できましたか（単一選択）

選 択 肢		回答数(集計)
1	よく理解できた	3
2	概ね理解できた	18
3	あまり理解できない	0
4	まったく理解できない	0
	合 計	21



## 新・ほっかいどう社会資本整備の重点化方針改訂（原案）に対する意見

お名前又は企業・団体名	
お住まいの住所又は所在地	〒
ご連絡先 (差し支えなければ記載願います。)	電話またはFAX、E-mailアドレスのいずれか
ご職業 (差し支えなければ記載願います。)	
① この改訂（原案）の内容について理解できましたか（1つ選んで番号に○を囲んで下さい）	
1, よく理解できた    2, 概ね理解できた    3, あまり理解できない    4, まったく理解できない	
② 上記①で3, 4, を選んだ方にお聞きしますが、理解できなかった内容や理由を記載して下さい。	
③ この改訂（原案）で変更した方がいいと思う部分があれば記載してください。（原案のページも記載願います）	
原案（      ） ページ	
④ 別表1に施策優先度を示していますが、施策毎の優先度について、何かご意見があれば記載して下さい。	
⑤ その他、ご意見がありましたらご自由に記載して下さい。	

[提出先・問い合わせ先]

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目（道庁2階）

北海道 総合政策部 計画局 計画推進課 社会資本整備係

電 話：011-204-5647    ファクシミリ：011-232-8924

電子メール：keikaku.suishin@pref.hokkaido.lg.jp

# 北海道にとって必要な社会資本整備を進めていくために ～中長期的な視点で「選択と集中」～

## 生活や産業を支える 社会資本整備 9つの基盤と59の施策

都市公園、上下水道、公営住宅など  
生活基盤（7施策）

休憩施設、案内表示など  
観光基盤（3施策）

医療施設、保育所、社会福祉施設など  
保健・医療・福祉基盤（7施策）



森林、自然公園、  
廃棄物処理施設など  
環境基盤（7施策）

農地、農業用施設、漁港、漁場など  
農林水産基盤（10施策）

治山・治水、砂防、海岸、  
避難施設など  
国土保全基盤（3施策）

道路、空港、港湾、鉄道など  
交通基盤（13施策）

光ファイバ、  
光海底通信ケーブルなど  
高度情報通信基盤（3施策）

学校、体育施設など  
教育・文化基盤  
（6施策）

選択  
と  
集中

### グループA：早期の効果発現を目指し優先的に取り組む 21 施策

例)



交通ネットワークの整備



治水・砂防・海岸施設の整備



農地や農業用施設の整備

### グループB1：優先的に取り組む 12 施策

例)



地方空港の機能向上



治山ダムや保安林の整備



高齢者向け公営住宅の整備

### グループB2：計画的・段階的に取り組む 18 施策

例)



バイパスなど都市内の道路の整備



荷さばき施設など水産施設の整備



地方・地域センター病院の整備

### グループC：既存ストックの有効活用などを中心に取り組む 8 施策

例)



身近な自然とふれあう公園などの整備



農道の整備



体育施設の整備

優先度

- ①重視すべき施策
- ②緊急性
- ③波及性